

# OMZK

(大淀川水辺の楽校に在来植生を回復させる会)

O M Z K

## 除草管理による シルビアシジミ生息地の保全

(「大淀川水辺の楽校」における試み)

OMZKメンバー

(宮崎大学農学部、大淀川学習館、宮崎市公園緑地課、宮崎河川国道事務所、宮崎昆虫同好会)

# Red Data Book 2014

# 5

環境省

昆虫類



**EN** (絶滅危惧 I B 類)

チョウ目 シジミチョウ科

カテゴリー判定基準：A-2

## シルビアシジミ

*Zizina emelina* (de l'Orza, 1869)

旧レッドリストカテゴリー		
1991	2000	2007
—	CR+EN	CR+EN

■**生息地の現況** 草刈りなどの人為的な管理が行われ、環境が好適に維持されている場所では安定して生息しているが、人為的な管理が放棄・変化している場所では環境が変化し、減少が続いている。

### 存続を脅かす要因

圃場整備 (15-2)、草地の管理放棄 (53)、農地や河川堤防での草刈り方法の変化、河川堤防やため池の改修 (13)、農薬の使用 (32) 等が大きく影響を与えた。



大淀川左岸河川敷(高岡町)  
食草:ミヤコグサ(マメ科)

県別レッドリスト(1992)

県別レッドリスト(2009)

県別レッドリスト(最新)

茨城県	希少種 (R)	情報不足 (DD)	記載なし(2000)
栃木県	希少種 (R)	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類(B) (2011)
群馬県	絶滅種 (Ex)	絶滅 (EX)	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) (2012)
埼玉県	絶滅種 (Ex)	絶滅 (EX)	絶滅 (EX) (2008)
千葉県	絶滅危惧種 (E)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	重要保護生物 (B) (2011)
東京都	絶滅種 (Ex)	絶滅 (EX)	絶滅 (EX) (2010)
神奈川県	絶滅危惧種 (E)	絶滅 (EX)	絶滅危惧ⅠA類(2006)
山梨県	リスト作成されず	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧ⅠB類 (EN) (2005)
岐阜県	絶滅種 (Ex)	絶滅 (EX)	絶滅(2009)
静岡県	危急種 (V)	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧ⅠA類 (CR) (2004)
愛知県	危急種 (V)	絶滅 (EX)	絶滅 (EX) (2009)
三重県	危急種 (V)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧ⅠA類 (CR) (2014)
滋賀県	記載なし	絶滅 (EX)	絶滅種(2010)
京都府	記載なし	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅寸前種(2002)
大阪府	記載なし	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)(2014)
兵庫県	記載なし	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	B (2012)
奈良県	記載なし	記載なし	絶滅寸前種(2008)
和歌山県	記載なし	絶滅 (EX)	絶滅 (EX) (2012)
鳥取県	危急種 (V)	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)(2012)
島根県	記載なし	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)(2014)
岡山県	希少種 (R)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	留意 (2009)
広島県	希少種 (R)	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)(2011)
山口県	危急種 (V)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU) (2003)
徳島県	記載なし	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU) (2013)
香川県	絶滅危惧種 (E)	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)(2004)
愛媛県	絶滅種 (EX)	絶滅種 (EX)	絶滅 (EX) (2003)
高知県	絶滅危惧種 (E)	絶滅種 (EX)	絶滅 (EX) (2000)
福岡県	絶滅危惧種 (E)	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU) (2014)
佐賀県	希少種 (R)	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (2003)
長崎県	希少種 (R)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU) (2011)
熊本県	危急種 (V)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧ⅠA類 (CR) (2009)
大分県	危急種 (V)	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	絶滅危惧ⅠA類 (CR) (2001)
宮崎県	なし	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU-r) (2015)
鹿児島県	鹿児島県	リスト作成されず	絶滅危惧Ⅰ類 (2014)

# シルビアシジミのライフサイクル



4～5月



4～11月の間に4～5回発生を繰り返す



幼虫で越冬

11～翌年3月



蛹

翌年3～4月



翌年4月

# 相反する除草条件

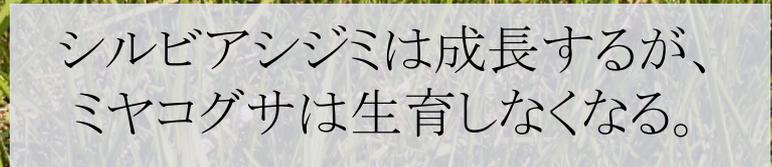
強く除草する

弱く除草する



ミヤコグサは生育するが、  
シルビアシジミはいなくなる。

シルビアシジミは成長するが、  
ミヤコグサは生育しなくなる。



## シルビアジミ成虫の移動



ミヤコグサが生え、  
シルビアジミ幼虫  
が成長できるパッチ

シルビアジミはい  
ないが、ミヤコグサ  
が生長するパッチ

ミヤコグサの生育サイクル

強い除草を行う

その年最後の世代が育つ10月中旬～11月中旬は  
除草せず、幼虫が越冬できるチガヤを残す

# 宮崎市公園緑地課(色つき箇所)



宮崎河川国道事務所(白色)

大淀川水辺の楽校





ジョンソングラス(2014/9/26)



セイヨウヒキヨモギ(2014/6/5)

# 大淀川水辺の楽校(2014年)

問題点: 外来植物が多い



タチスズメノヒエ(2014/9/26)



ハルシャギク(2014/6/5)

## 外来種を駆逐し、在来種を増やすための除草戦略

在来種と外来種では花の時期が異なる

在来種(チガヤ) 5~6月出穂

外来種(セイバンモロコシ) 7~8月出穂



在来種の種ができた後、外来種が花の時期に除草する

秋の遅い時期に除草して裸地になると春に外来種が生えやすくなる  
冬季も在来種が残るようにする



2回目の除草は9月末までに行う

チガヤは10月以降それ程伸びない

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
在来植物					花	種						
外来植物							花	種				
除草 (2014年)												
除草 (2015年)												
↳												

外来種が種を付ける前に刈る

冬季、裸地にならないようにする  
(裸地になると春に外来種が生えやすくなる)

外来植物(ジョンソングラス)が繁茂



2014年9月26日



2017年9月9日

除草管理  
の変更



2015年1月27日



在来植生(チガヤ)は赤く見える

2018年1月24日

## OMZKメンバー

宮崎大学農学部、大淀川学習館、宮崎市公園緑地課  
宮崎河川国道事務所、宮崎昆虫同好会



### 大淀川在来植生回復

この水辺の楽校では、絶滅危惧種に指定されている「シルビアシジミ」の生息が確認されております。

シルビアシジミの安定的な発生地にするには、在来植生を回復させることが必要であり、そのために、草刈の時期を一部ずらしております。

公園利用者にはご迷惑をおかけしますが、趣旨をご理解いただきご協力をお願い致します。



シルビアシジミとミヤコグサ (在来種)

宮崎市公園緑地課



# 大淀川河川敷のシルビアシジミ生息地(越冬地)



4月15日:春は第1化の成虫が卵を産むのに十分なミヤコグサがある



8月14日:夏はマダラ刈により、生長段階の異なるミヤコグサが生える



11月12日:晩秋は越冬行いうち虫が育つためのミヤコグサが多くなる



1月16日:冬は幼虫が越冬するために背に低いチガヤが生えている



コムラサキ  
(県NT-g)



シルピアシジミ  
(国EN 県VU-r)



ギンイチモンジセセリ  
(国NT 県VU-g)



ツマグロキチョウ  
(国EN 県NT-g)

# 大淀川水辺の楽校

確認された希少種

# 大淀川でみられるシルビアシジミに似ているシジミチョウ



黒点が円弧状に並ぶ

ヤマトシジミ(11~13mm)



黒点が2列に見える

シルビアシジミ(11~13mm)

ヤマトシジミとシルビアシジミは翅の斑紋で見分けることができる。後翅裏面の外縁から3列目の黒点列が円弧上に丸く並んでいるのがヤマトシジミで、少しずれて2列に見えるのがシルビアシジミ。

ヤマトシジミとシルビアシジミは草原の地面近くを飛んでいることが多い。そのため、ヤマトシジミやシルビアシジミは地這シジミ(ジバイシジミ)とも呼ばれている。

ルリシジミとヤクシマルリシジミは、ヤマトシジミとシルビアシジミよりも少し大きく垣根や街路樹などの樹木にまとわりつくように飛ぶ。

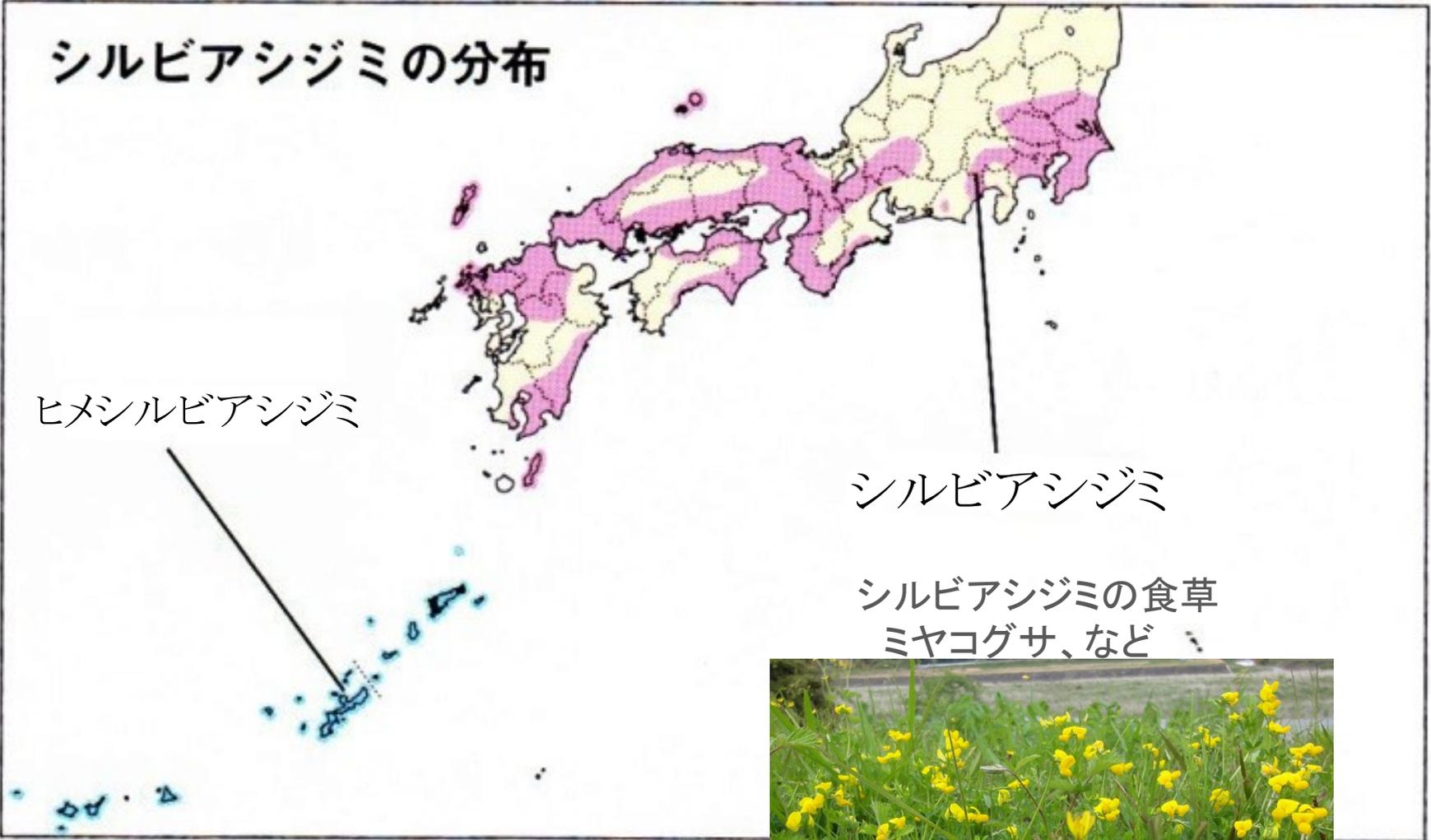


ルリシジミ(15~16mm)



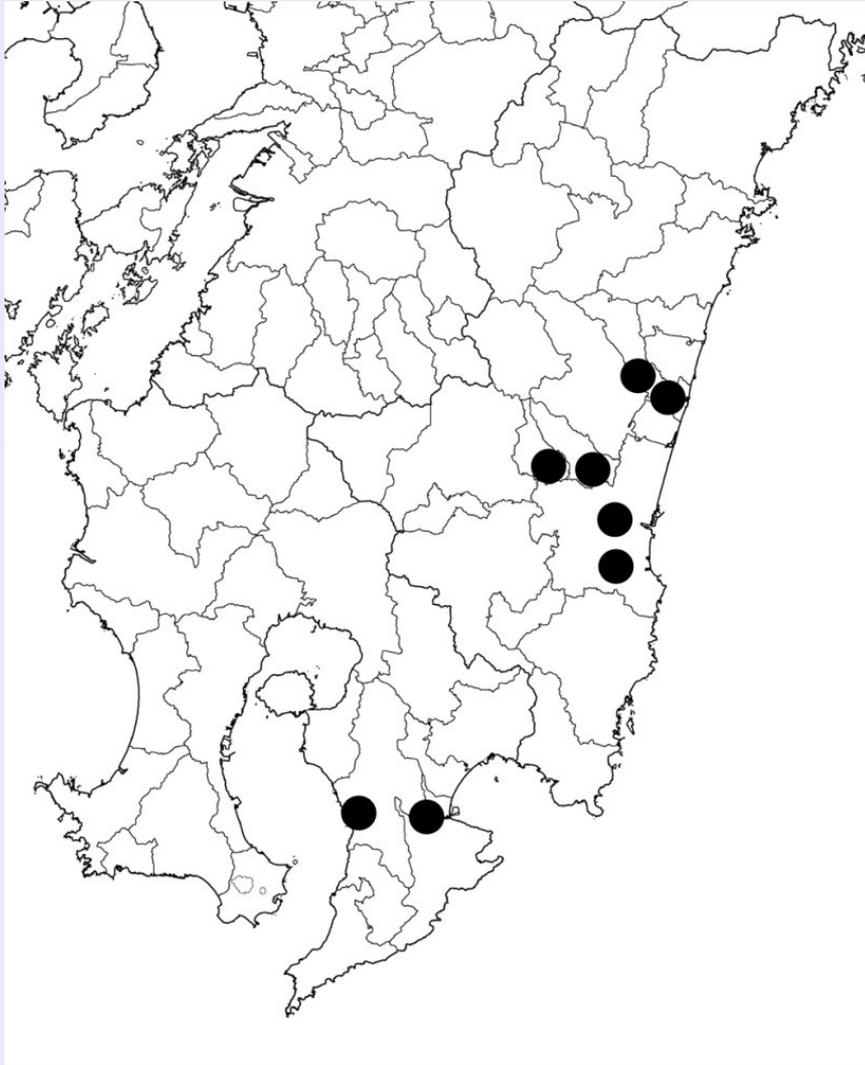
ヤクシマルリシジミ(15~16mm)

# シルビアシジミの分布

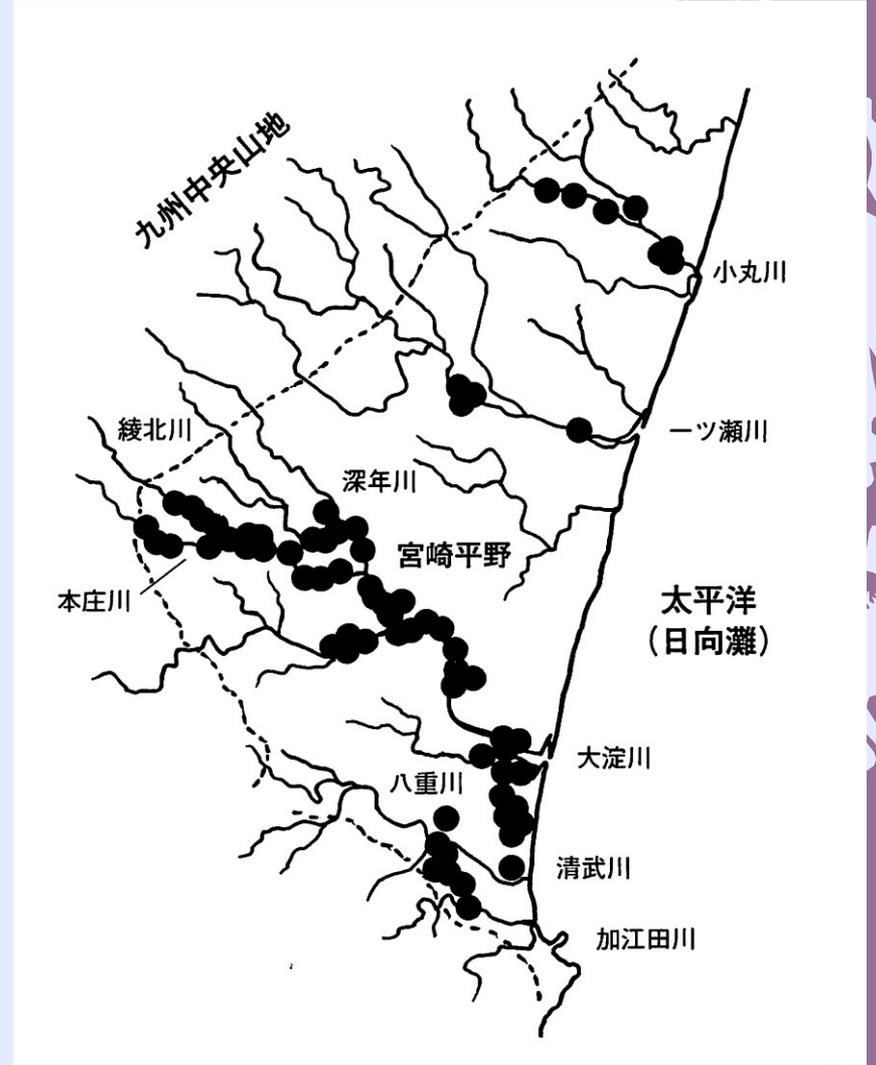


日本産蝶類標準図鑑(2006)より





シルビアシジミの分布  
(現在の南九州)



シルビアシジミの分布  
(1990年代の宮崎県)